



実り豊かな生活文化都市

中央市 議会だより

Vol. 76

2月
2025



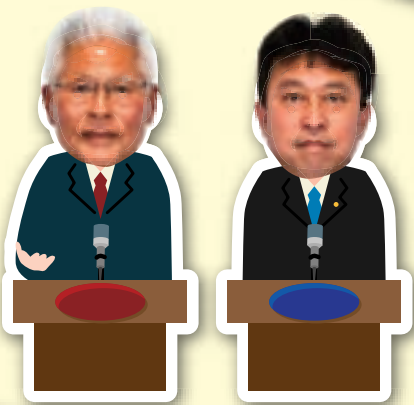
特集

P2

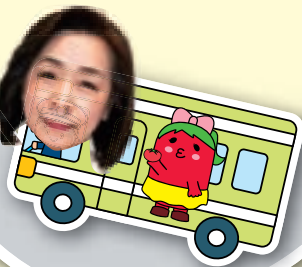
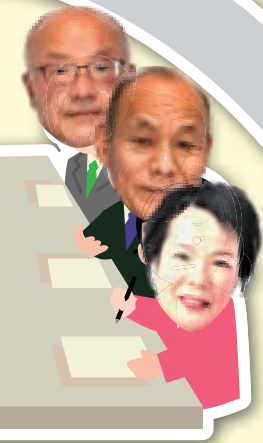
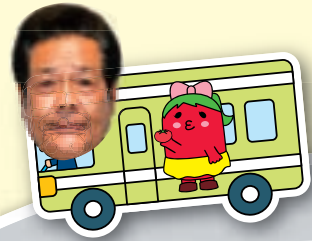
市議会議員の 活動とは？

- P 4 12月定例会で決まったこと
- P 8 審議結果
- P 9 市長の行政報告
- P10 一般質問に4議員
- P12 委員会レポート
- P15 視察研修受入れ・議会改革推進委員会
- P16 議員合同行政視察研修
- P18 市民の談話室・編集後記

市議会議員の活動とは？



～ 市議会議員の活動をご存じでしょうか ～
「議会で何をしているのか」「議会が行われていないときは何をしているのか」など、今回は中央市議会や定例会中の議員の主な活動内容を特集します。



1. 定例会開会

市議会の招集は、市長が行います。ここで市長から提出された様々な議案等は、さらに詳しく審査するため、各常任委員会へ付託します。

傍聴できます。

2. 常任委員会

付託された議案等は、内容が多岐にわたるため、部門ごとに振り分けます。常任委員会では、議案に係る担当課から詳しい説明を受け、より合理的に審査します。

本市議会では、3つの常任委員会を設置しており、議員はいずれか一つの常任委員会に所属しています。

- ・総務教育常任委員会（6名）
- ・厚生常任委員会（6名）
- ・産業土木常任委員会（6名）

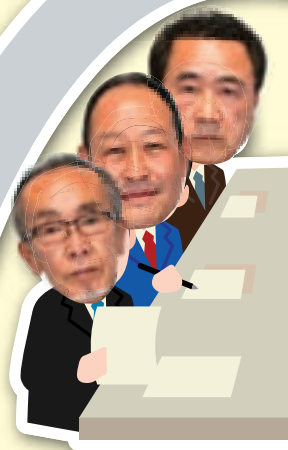
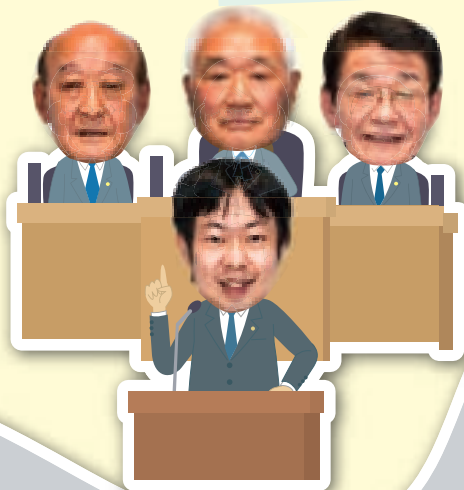
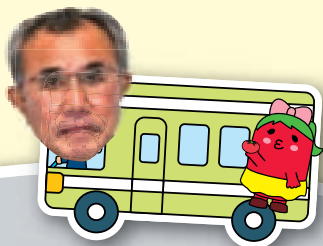
また、3月は当初予算について、9月には決算について審議しています。



中央市議会では、毎年3月・6月・9月・12月の年4回、定例会が開催され、必要に応じて臨時会も開催されます。

他にもこんな 活動をしています！

- 先進事例調査
- 法令などの調査研究
- 各種委員会等による施策の審議
- 市との協議
- 地元住民からの相談・要望・意見交換
・市役所への相談
- 地域イベントへの参加 など



議員によって届けられた市民の声は、
住みよいまちづくりにいかされて
いくのです。

皆さんの生活に関わる事案を審議することも
多く、白熱した議論を見ることができます。
議場で行われる本会議は誰でも傍聴するこ
とができますので、ぜひ議場の臨場感を味わっ
てみませんか。



3. 一般質問

定例会中に行われる一般質問。
これは、議員が市政全般に関す
る事柄に対して市へ見解を求め、
疑問を質すものです。これによ
り事務事業の進捗状況などが明
らかになるほか、新たな施策の
提案にもつながります。

傍聴できます。

4. 定例会閉会

各常任委員会での審査結果を報
告し、これに対する質疑・討論
を改めて行います。その後、各
議案の議決をはかり、出席議員
の多数決により、議会としての
最終的な意思を決定します。

傍聴できます。



5億6,829万円を増額

一般会計

総額 163億2,383万円に

第4回定例会が、12月3日から12月17日までの15日間の会期で開催され、市長から専決処分1件、条例案件4件、補正予算15件、その他の案件5件、また、請願1件、意見書1件が提案され、審議しました。

一般会計補正予算 (第4号、第5号、第6号)

一般会計補正予算の主な内容

●総務費

衆議院議員選挙費	1,766万円
庁舎維持管理事業 (本館1階市民部エリアのレイアウト変更)	121万円
行政事務電算化管理事業 (市民部エリアのレイアウトの変更に伴う配線移設業務)	154万円

●民生費

中央市高校生世代物価高騰応援給付金事業 (物価高騰の影響を受ける高校生世代のいる世帯の負担軽減)	1,115万円
公立保育園完全給食事業 (3歳以上児に主食を提供するための事業費等)	166万円
保育園施設整備事業 (田富第二・田富第三統合保育園西側駐車場整備事業)	1,980万円



田富第二・田富第三統合保育園整備事業(イメージ図)

●農林水産業費	土地改良施設等基盤整備事業 (活性化農道整備事業分)	1,575万円
●土木費	木造住宅耐震シェルター設置事業補助金 (補助対象に防災ベッドを追加)	72万円
	道路橋梁維持事業	175万円
●教育費	学校給食センター運営事業 (調理器具や受電設備等の維持、点検業務等)	111万円
	田富北体育館管理事業 (田富小学校体育館改修工事に伴う代替施設として 使用するための修繕工事等)	1,031万円

特別会計補正予算

会 計 名	補 正 額	総 額
国民健康保険特別会計 (第3号、第4号)	5,281万円	31億9,366万円
後期高齢者医療特別会計 (第2号、第3号)	2,372万円	5億2,584万円
介護保険特別会計 (第2号、第3号)	1億4,225万円	24億1,202万円
地域包括支援センター特別会計(第2号)	78万円	1,286万円
田富よし原処理センター事業特別会計(第2号)	8,658万円	1億6,232万円

企業会計補正予算

会 計 名	収益的収入および支出			資本的収入および支出		
		補正額	総 額		補正額	総 額
簡易水道 事業会計 (第2号)	収入	—	2億2,316万円	収入	—	1億1,000万円
	支出	100万円	1億9,555万円	支出	—	2億4,114万円
公共下水道 事業会計 (第2号、第3号)	収入	131万円	8億1,591万円	収入	129万円	8億75万円
	支出	131万円	8億1,591万円	支出	129万円	9億2,561万円
農業集落排水 事業会計 (第3号、第4号)	収入	124万円	2億8,525万円	収入	—	3億9,636万円
	支出	124万円	2億8,525万円	支出	—	4億2,963万円

主な条例案件

●行政手続のオンライン化にあたり、公的基礎情報の活用や利用促進のため、マイナンバー及びマイナンバーカードに関する条例を整理します。

●情報通信技術の活用による行政手続等に係る関係者の利便性の向上並びに行政運営の簡素化及び効率化を図るためのデジタル社会形成基本法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例制定の件

（施行日：情報通信技術の活用による行政手続等に係る関係者の利便性の向上並びに行政運営の簡素化及び効率化を図るためのデジタル社会形成基本法等の一部を改正する法律（令和6年法律第46号）附則第1条第2号に掲げる規定の施行の日）

【主な内容】 改正法による番号法の一部改正により同法に条項ずれが生じたことに伴い、次の条例において引用条項を改める必要があるため、関係条例の整理を行うもの。

- ・中央市税条例の一部改正
- ・中央市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正
- ・中央市議会の個人情報の保護に関する条例の一部改正

●職員や議員の期末手当等の支給率が変わりました。

●中央市職員給与条例中改正の件

●中央市特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例中改正の件

●中央市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例中改正の件

【主な内容】 人事院勧告及び山梨県人事委員会の給与に関する勧告等に鑑み、職員の給与月額、初任給調整手当、期末手当及び勤勉手当の支給率を改正するもの。
また、職員の給与改定等に照らし合わせ、常勤の特別職（市長、副市長、教育長）や議会議員の期末手当の支給率を改正するもの。

一例：一般職員の期末手当・勤勉手当の改定
年間 0.1 月分引き上げ

その他案件

●シルク工芸館ふれあい館等の指定管理者が更新されます。

●指定管理者の指定の件

対象の施設： 中央市シルク工芸館ふれあい館
中央市豊富シルクの里公園
中央市豊富郷土資料館
中央市与一弓道場

団体の名称： 甲府市高畑一丁目2番5号
株式会社えべし

指定の期間： 令和7年4月1日 から 令和12年3月31日 まで



シルク工芸館ふれあい館

請願審査

●請願第3号「持続可能な学校の実現をめざす」実効性ある学校の働き方改革、長時間労働是正を求める意見書採択の請願について

- ・請願者 中央市PTA連絡協議会 会長 天野 友洋
中央市公立小中学校長会 会長 薬袋 貴
中央市公立小中学校教頭会 会長 永関 幸玄
山梨県教職員組合中巨摩支部 執行委員長 中込 太樹
- ・紹介議員 笹本 昇
- ・要 旨
 1. 教職員の負担軽減をはかる観点から、国として具体的業務削減策を示すこと。
 - (1) 部活動の地域移行をさらにすすめること。
 - (2) 「カリキュラム・オーバーロード」の実態にあることから、学習指導要領の内容の精選やそれに伴う標準授業時数の削減等を行うこと。
 2. 教職員定数改善を実施すること。
 3. 自治体でのとりくみが確実にすすむよう、人の配置・確保も含め、推進のための必要な財源確保等を行うこと。
 4. 教職員のいのちと健康が守られる法制度の整備をはかること。
 5. 今後、勤務実態調査を行った上で、その結果に基づき必要な措置を講ずること。

請願審査の結果が採択となったことにより、上記の請願に対し、市議会から国へ意見書を提出しました。

- ・提出議員 中沢 美恵
- ・賛成議員 笹本 昇 小池 章治
- ・提出先 衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 文部科学大臣 財務大臣 総務大臣

定例会審議結果

○賛成 ×反対 (井口 貢 議長を除く)

種別	案 件 名	副議長	フ　　ォ　　ー　　ラ　　ム　　中　　央										至誠会			日本共産党	無所属	結 果
		田中輝美	田中一臣	福田清美	小池章治	金丸俊明	斉藤雅浩	山本六男	笹本昇	中沢美恵	志村勇	有泉誠	内藤巧	山村一	江間政雄	新海一芳	木下友貴	
第4回定例会																		
専決処分	専決処分の承認を求める件 （一般会計補正予算（第4号））	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
条例案件	情報通信技術の活用による行政手続等に係る関係者の利便性の向上並びに行政運営の簡素化及び効率化を図るためのデジタル社会形成基本法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例制定の件																	可決
	職員給与条例中改正の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例中改正の件																	
	議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例中改正の件																	
補正予算	一般会計補正予算（第5号）																	可決
	一般会計補正予算（第6号）																	
	国民健康保険特別会計補正予算(第3号)																	
	国民健康保険特別会計補正予算(第4号)																	
	後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)																	
	後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)																	
	介護保険特別会計補正予算(第2号)																	
	介護保険特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	地域包括支援センター特別会計補正予算（第2号）																	
	田富よし原処理センター事業特別会計補正予算（第2号）																	
	簡易水道事業会計補正予算（第2号）																	
	公共下水道事業会計補正予算（第2号）																	
	公共下水道事業会計補正予算（第3号）																	
	農業集落排水事業会計補正予算（第3号）																	
農業集落排水事業会計補正予算（第4号）																		
その他	市道路線認定の件																	可決
	市道路線変更の件																	
	指定管理者の指定の件																	
	山梨県市町村総合事務組合の共同処理する事務の変更及び山梨県市町村総合事務組合規約の変更の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	山梨県市町村総合事務組合の共同処理する事務の変更に伴う財産処分の件																	
請願	「持続可能な学校の実現をめざす」実効性ある学校の働き方改革、長時間労働是正を求める意見書採択の請願について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
意見書	「持続可能な学校の実現をめざす」実効性ある学校の働き方改革、長時間労働是正を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

12月

定例会

市長の
行政報告

第9回中央市ふるさとまつり

第9回中央市ふるさとまつり

11月3日に開催した「第9回中央市ふるさとまつり」は、前日までの大雨の影響が心配されましたが、当日は関係者の皆さまの協力により、グラウンドの水たまりも解消し、秋空の下「子どもが楽しむ子どもが集まる祭り」をコンセプトに、市民参加のお祭りとして「子どもみこし・仮装パレード」をはじめ全てのプログラムを予定どおり実施することが出来ました。

前日の雨の影響で、駐車場が使用できない状況にもかかわらず、市内外から約3万人の皆さまに訪れていただき大盛況のうち

に開催することが出来ました。第10回の来年度は、工夫を凝らし、皆さまにとってより思い出深い祭りとなるよう検討して参りたいと考えております。

Nordisk Mountain Trail
in YAMANASHI CHUO
(フルディスクマウンテントレイルインヤマナシチュウオウ)

本年5月に(株)ノルディスクジャパン様及び(株)山梨中央銀行様と、「アウトドアを基軸とした地域活性化に関する連携協定」を締結した取り組みの第1弾として、11月23日、本市のたいら山を舞台にトレイルランニングの大会を開催し、距離が約25kmのロングコースと、約12kmのショートコース、及び約6kmのウォーキングの全3コースで、県内外から約400名のご参加をいただきました。

また、この日は、YSKe.com シルクパークを会場に、アウトドアイベント「Hygge in YAMANASHI CHUO (ヒュッゲインヤマナシチュウオウ)」も同時開催され、アウ

トドア用品の販売やキッチンカーなど多彩なブースが来店され、ゲストにお笑いコンビチュートリアルで、キャンパ芸人としても活躍する徳井義実さんとくいよしみをお迎えし、トークショーを繰り広げたほか、シルクふれんどりいでは宿泊イベントも併せて開催いたしました。

これらのアウトドアイベントを通じて、本市のたいら山からの眺望や里山の風景を満喫していただくとともに、首都圏からも近いという交通の利便性の良さや、シルクふれんどりいなど、県内外に本市の魅力を存分に発信することができたと感じております。

災害時における協定

用保存水の提供など、円滑な災害救護活動の充実を図ることなどを目的としています。

11月7日には、災害発生時にキャンピングカーを活用した復旧や復興支援活動を行っている、一般社団法人日本RV協会様と、県内で初となる「災害時におけるキャンピングカーの提供に関する協定」を締結いたしました。中央市において災害が発生し、または発生する恐れがある場合に、日本RV協会様から、キャンピングカー等を優先的に提供いただき、災害発生時における効率的な救援活動の確保を図ることなどを目的としています。

10月31日に、(株)オスカー様と「災害時における支援協力に関する協定」を締結いたしました。中央市において災害が発生し、または発生する恐れがある場合に、オスカー様から災害救援活動に従事する方の衣服類のクリーニング、使用済み防災備蓄用毛布の衛生処理とアルミ蒸着シートによる真空加工保存処理、また、物資の支援協力として、ペットボトル入り飲

今後とも市民の皆さまの安全・安心を最優先に、各種防災対策を推進して参ります。



Q

治水対策について

A

しっかりとした対策を講じる必要がある

金丸 俊明 議員

問：神明川改修の是非について、流域の開発状況、保守基地、ロジパークの雨水量などを追加した、本市の調査結果について。

貯蔵する調整池等の施設を設けること」などの基準により設計し、開発に伴う雨水排水等については、適切に指導している。

答：過去に台風接近に伴う豪雨により越水の危機が切迫した経緯もあり、神明川の治水対策は重要な課題であり、神明川に流出される雨水量については、市独自の調査は行っていないが、本市の開発行為技術基準において、開発区域内の雨水等の排出施設の設計に際して、「開発行為の計画並びに周辺地域の状況を勘案の上、降水量等から想定される雨水及び汚水を有効に排出できるように設計すること」、「放流先の排水能力によりやむを得ないと認められるときは、開発行為区域内において一時雨水を

令和5年度に操業開始した山梨中央ロジパークでも、施設内に調整池を設置し、降雨による周辺河川・水路への放水が緩やかになるよう対策を講じている。また、JR東海が成島地内に整備を予定しているリニア中央新幹線の保守基地については、現時点において施設の具体的な整備計画が示されていないが、事業の進捗にあたり事業者とは綿密な協議を重ね、万全の対策を講じるよう指導していく。

【関連質問】

中沢美恵 議員



Q

有害SNSにおいて青少年が加害者、被害者にならないための方策は

A

青少年が安全に安心してインターネットを利用できるための施策を検討し、適切な対策を講じていく

新海 一芳 議員

問：有害SNS（闇バイト、マッティングアプリ等）において青少年が加害者、被害者にならないための方策は。

現」の中で、その施策の一つとして「情報活用能力の育成」を掲げ、子どもがインターネットを通じて顔の知らない人と出会い、事件に巻き込まれるケースが後を絶たないため、保護者への情報提供と、子どもへの危険性を教える教育の強化に取り組んでいる。

答：青少年がインターネットを適切に活用する能力の習得に必要な措置を講ずるため、「青少年が安全に安心してインターネットを利用できる環境の整備等に関する法律」が平成21年4月に施行された。この法律では保護者の義務や責任、学校等関係機関によるフィルタリング対策等の適正な環境提供の責務、さらには、必要に応じたサーバー管理者の情報提供や協力体制等を規定している。市教育委員会では、「第2次中央市教育振興基本計画」において、基本目標「次代を切り拓く力を養う教育の実

しかし、有害SNSは年々その手口が巧妙化し、そのトラブル内容も深刻な状況で、学校及び保護者等関係機関の皆さまと協議する中で、青少年が安全に安心してインターネットを利用できるための施策を検討し、適切な対策を講じていく。

【関連質問】

江間政雄 議員

有泉 誠 議員



公園内の清掃は

年間契約によりトイレ清掃や園内のごみ・動物のフンの処理等の清掃を定期的に実施している

中沢 美恵 議員

問：公園内の清掃は。

答：シルバー人材センターや業者との年間契約によりトイレ清掃や園内のごみ・動物のフンの処理等の清掃を定期的に実施している。

問：公園の遊具の種類や数はどう決まるか。

答：公園の広さや規模、ターゲットユーザーとする年齢層や目的、セーフティエリア（安全領域）の確保、不審者対策や子どもの監視を考慮し、保護者の目を遮らない休憩スペースを設けるなど、幅広い視点からの検討や専門的な知見を要することから、遊具専門業者の意見等を踏まえ、決めている。

問：田富水辺の楽校^{がっこう}について。

答：国土交通省が文部科学省、環境省と連携して行っているプロジェクトで、身近な水辺をフイー

ルドに、子どもたちが川に親し

む自然体験活動や野鳥の観察、水生生物の観察などを推進するもので、平成10年度に「田富町自然体験クラブ」が、富士川流域の水辺における河川環境学習や自然観察会を推進する目的で国土交通省から登録されたが、当時の登録団体である同クラブが活動停止しているため、本市教育委員会が管理を行い、当時の「田富町自然体験クラブ」と同様な活動を中央市内で行っている「まちづくり時習塾」により、田富地区内の小学生を対象にした河川環境での自然観察会等を年4回程度行っている。

【関連質問】

有泉 誠 議員

田中輝美 議員



改正地方自治法についての見解は

国と連携して的確かつ迅速に対応することで、市民の皆さまの生命等を保護することが重要である

木下 友貴 議員

問：改正地方自治法について。

答：市としては、市民の安全に重大な影響を及ぼす事態等が発生した時に、国と地方が連携して的確かつ迅速に対応し、市民の皆さまの生命等を保護することが重要であると考え、国においては、法

の目的や附帯決議を踏まえ、地方と十分な協議、調整を行った上で、適切に運用するものと認識する。

問：プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律（プラスチック新法）への対応について。

答：プラスチック新法の施行により、市では分別基準の策定や収集スペースの確保、収集方法などの新たな仕組みづくりや、分別収集に伴う経費が見込まれ、市民の皆さまには新たな分別による費用負担が発生することも想定され、す

ぐに対応できるものではないので、今後、慎重に判断していく。

問：市民や事業者に対し、資源循環への参画を求めるための啓発活動などの取り組みについて。

答：本市では従来から環境衛生委員やエコライフ推進員などが各自治会等において、先月実施した「市環境美化運動」にも中心的な役割を果たしていた。市内の小学校では、毎年「ごみや食品ロスなどの環境に関する学習」を実施し、今後も継続して一般市民や事業者等と呼び掛け、市民・事業者・行政が連携を図りながら4Rの推進など環境に関する取り組みをお願いしていく。

【関連質問】

志村 勇 議員

有泉 誠 議員

総務教育常任委員会

審査ポイント

交通災害共済事業を廃止する理由は

◎一般会計補正予算（第5号）

〈総務部 管財課〉

問：総合防災公園の手押しポンプの修繕とは。

答：手押しポンプの足元部分の芝生がえぐれ陥没している状況で、危険なため修繕する。

問：スケートボード等によりベンチなどに傷が付いているが、対応策は。

答：市民の方からの問い合わせもあり、注意看板等の設置や現地確認をして直接話もしている。また、市の青色防犯パトロールでの巡回や警察にもパトロールを依頼している。

〈市民部 税務課〉

問：確定申告時に臨時の職員が見つからない中で民間を活用していくとは、人材派遣会社に委託して派遣してもらうのか。

答：そのとおり。

問：個人情報等の取扱いをどう考えているか。

答：雇用条件として、個人情報の取扱いなどに適切な保護措置の体制がされているプライバシーマークを所持している企業から雇用する。また、派遣で来ていただく方にも個人情報の取扱いについての誓約を取り交わしていただく。

問：派遣予定の4名はどのような業務を行うのか。

答：源泉徴収票の内容確認や整理をしていた。また、確定申告期間中は受付業務を行う。ただし、データを更新するような業務は依頼をしない。

問：派遣の契約期間は。

答：4名は1月6日から3月末までを雇用する予定。また、2月3日から3月28日までではもう1名を追加雇用する予定。

〈教育委員会 教育総務課〉

問：玉穂中学校の消防用設備の修繕とは何か。

答：点検時、3か所ある避難口の誘導灯の電源を落とすと切れてし

まい、その後も点灯しないことから修理を行う。

〈教育委員会 生涯教育課〉

問：外国籍児童生徒第三の居場所事業に係る工事請負費で33万円の増額とは、どのような工事か。

答：移転先予定の旧ひまわり児童館の警備関係の配線を取り直し、改修する工事となる。

問：現在、田富総合会館で事業を行っているが、完成するまで同じ場所で行うのか。

答：工期が6か月程度かかると思うので今の場所を借りるか、他の場所へ移るか検討していく。令和7年の夏には、新施設で事業を進めていきたい。

◎山梨県市町村総合事務組合の

共同処理する事務の変更及び山梨県市町村総合事務組合規約の変更の件

〈総務部 総務課〉

問：交通災害共済事業の中央市全体の加入率は、どの程度か。

答：令和3年度で20・9%、6,443人であった。

問：交通災害共済事業を廃止す

る理由は。

答：加入率の低下が挙げられる。令和5年4月から加入時に振込手数料が1件につき300円となり、全て市町村が負担している。県と長く議論してきたが、令和7年度に加入募集を終了し、令和9年度末で事業を廃止することになった。

問：他の市区町村の意見や議論はどうだったのか。

答：21自治体のうち、中央市を含む2自治体が継続を希望していたが、ほとんどの自治体が銀行の振込手数料がかかることに加え、基幹系システムの移行に伴い納付書を印字する費用もかかることから、最終的に事業廃止という結論に至った。

問：廃止される場合、市民へどのように周知するのか。

答：構成する市町村と同様に丁寧な説明をしていく。

問：廃止された場合、これに代わる制度を考えていただきたい。

答：民間の保険も充実しているので紹介していく。

厚生常任委員会

審査ポイント

市内保育園の主食提供について

◎一般会計補正予算（第5号）

〈福祉部 長寿推進課〉

問：認知症グループホームを整備する事業者を公募したプロポーザルについて、詳細は。

答：2事業者から公募があった。

8月にプロポーザルを行い1事業者を決定した。

〈こども健康部 子育て支援課〉

問：各保育園の給食に主食のご飯を提供していくことになるが、給食費は現在よりも高くなるのか。

答：実費徴収となるので、お米の調達費用は保護者に負担をお願いすることになる。既に県内でも実施している市町村があり、負担額にはばらつきがあるが、お米の仕入れと提供等を分析し、負担額を決めていく。

問：お米の確保はどう考えているか。

答：現在は0歳から2歳児にお米も含めた給食を提供しており、た・からや道の駅とよみなどか

ら調達し、提供している。今回の事業についても、同様の仕入れ先から調達することを想定している。



問：田富第二・田富第三統合保育園西側駐車場（※）の用地面積は。また、その土地価格の算定根拠は。

答：2名の地権者からご協力をいただけると回答があった。登記簿上、一筆は農地、もう一筆は宅地で合計1,363㎡となっている。なお、土地価格は土地鑑定士の鑑定評価書に基づき予算化している。

※旧田富第二保育園の隣接地

◎国民健康保険特別会計補正予算（第2号）

〈市民部 保険課〉

問：健康保険証とマイナンバーカードとの一体化の処理のために時間外手当を補正する説明であったが、何人の職員に対応しての時間外手当か。

答：国民健康保険担当の職員3名分となる。

問：マイナンバーカードと保険証の一体化を行なっている人の割合は。

答：中央市では9月現在で61.83%となっている。

◎介護保険特別会計補正予算（第2号）

〈福祉部 長寿推進課〉

問：令和5年度決算の認定に伴い補正する繰越金は、介護保険サービスが十分に行き届いているうえで発生しているということか。

答：繰越金が多いのは、保険料の収入に対して利用されたサービスが少なかったため、その差額を繰越している。介護サービスは地域密着型サービスのよ様に、市民でないと思えないサービスもある

が、それ以外は希望するサービスは使えるので、提供できていると考えている。また、窓口においてもサービスが足りないという相談も聞いている。

問：サービスを充実してほしいという声はあるか。

答：サービスを充実することは必要であると考えているが、給付費の増加にもつながる。また、介護保険料は3年間の計画期間中にどれだけのサービスを提供するかを見込んだうえで、額を決めている。それらを踏まえ、今後もサービスのあり方を検討していく必要があると考えている。



産業土木常任委員会

審査ポイント

指定管理者の指定について

◎一般会計補正予算（第5号）

〈産業建設部 建設課〉

問：木造住宅耐震化促進事業として、耐震シェルター設置補助対象に防災ベッドを加えることは、県の事業で新しく追加されたということか。また、令和7年度の実施の時期は。

答：県が令和6年度から新たに耐震シェルターを対象に加えており、それにより中央市も新たに加えた。実施時期は今回の補正予算が可決され次第、すぐに取り組む。



補助対象に追加された防災ベッド（一例）

問：市営釜無団地の敷地内にある集会所の土地購入の経緯は。

答：市営釜無団地の集会所は、昭和50年代に旧田富町が県から土地を借りて集会所を建設した。市営釜無団地と集会所は、今も同居されている方が使われている。集会所の土地を今後どう扱っていくか県と協議を重ねた結果、市の長寿命化計画において、将来的には市営釜無団地を廃止するが、当面の間、集会所は使用していくため、県から土地を取得することになった。

◎指定管理者の指定の件

〈産業建設部 産業課〉

問：シルク工芸館ふれあい館等の指定管理期間が4年間から5年間に変わった理由は。

答：現在の総務省の指針で、指定管理期間は施設の性質に合わせて3年から5年で設けるとある。市では、中長期的な事業展開をして効果が出るには5年が適切として、変更した。

問：指定管理者への公募状況は。

答：1者のみであった。

問：指定管理者の公募は、ホームページ以外にも募集したのか。

答：募集は市のホームページへの掲載のみであった。

問：多くの事業者が応募できるような募集方法を考える必要があると思うがどうか。

答：競争性を鑑みて現在も模索している。今回は参加申込が1者のみであったが、選定委員が審査基準に基づき総合的に審査をしている。従って、審査内容が不十分であれば指定管理者に選考できないため、適正な判断のもとに行われている。

問：令和5年度の監査報告で、「令和3年度監査より、重要な目標達成値の進捗状況等、満足する実績報告ではないことから、実施方法等を改善するよう提言してきた」とある。また、「市の今後の発展にも寄与するべき指定管理者が、合理的な運営となっていない」と評価されている。市からしっかりと指導していただきたいがどう考えているか。

答：令和6年度のリニューアルオ

ープンは活性化のためである。協定書でモニタリングすることになっており、費用対効果を求めて意見交換を行っている。昼間の利用をどう活用して利用者数を増やすか等も検討しており、今後も努力は怠らないよう行っていく。

問：監査委員からの報告には合理的ではない、目標値を上回っていない等の内容が書かれている。指定管理者公募の選定委員会で報告し議論したのか。

答：選定委員会を2回開催している。1回目は令和6年7月に募集要項、選定基準等の内容を審議した。2回目は同年10月に事業者によるプレゼンテーション審査を行い、採点のうえ選定した。今回の監査委員からの提言等は、同年11月に報告されているため、この報告に對しての議論はしていない。



シルクの里公園内中央市与一弓道場

視察研修受入れ

愛知県碧南市議会^{へきなん} 福祉健康委員会

11月20日(水)、愛知県碧南市議会福祉健康委員会の委員8名が視察研修に来庁されました。本市議会の井口議長が歓迎のあいさつを行い、福祉部長寿推進課より包括支援センターの取り組みをはじめ、AIケアプランシステム「SOIN（そわん）」の概要や活用方法、利用者やケアマネジャーからの感想などの説明を行いました。

碧南市議会福祉健康委員会の委員からは、実際に活用を行ったメリット、事業の予算や補助金、今後の課題等についての質問がされました。



議会改革推進委員会

議会改革推進委員会では、議会の責任や役割を果たすため必要とする議会改革への取り組みを協議しています。

今回は「議員定数」と「市民と議会の対話集会」について協議しました。

議員定数については、議会で長期間議論を重ねてきており、その結果は、現状維持13人、削減5人（1人削減1人・2人削減2人・4人削減2人）、増員0人となりました。諮った際の各議員の各意見や理由、また、現在の定数が地域住民の声を十分に反映できる適正な数であるとして、議員全員に報告しました。

市民と議会の対話集会については、議員活動のひとつとして、市民と対話の場を設けて意見を交わす大切な活動であることから、今後も開催すべきとするとし、日時や場所等については、今後協議することとなりました。



議会だよりでは、皆さまから表紙の写真を募集しています！
奮ってご応募ください。



※詳細は
HP(https://www.city.chuo.yamanashi.jp/soshiki/gikai/gikai_info/4245.html)
をご覧ください。事務局（055-274-8516）までお気軽にお問い合わせください。



1日目 令和6年11月14日(木)

場 所…福井県 勝山市

内 容…「ちょいチャレ応援事業」・

「わくわくクラウドファンディングイベント応援事業」について

合同行政
視察研修

令和6年11月
14日～15日

1日目は、福井県勝山市役所を訪問し、2つの事業について研修を行いました。

「ちょいチャレ応援事業」は、勝山市の掲げる10年後のまちの姿「わいわい・わくわく・安心安全のまち かつやま」の実現に向けて、地域の歴史や特性を市民自らの認識を深め、市民の自主的・主体的なまちづくりへのチャレンジを支援する事業です。市民の輪を広げ、絆を深めています。



「わくわくクラウドファンディングイベント応援事業」は、やりたいことに挑戦できるまちを創るための事業です。市民が自主的・主体的にクラウドファンディングを活用して取り組む集団的な行事、催し物や興行など、また勝山市の主要な製造、加工等を行うものづくりの実施を支援しています。

両事業は、地域全体の活性化を図ることを目的に行われていると、説明を受けました。

ソフト事業こそ「継続は力なり」であり、定着するまで、どのように行政が支援すれば良いか試行錯誤の繰り返しが必要不可欠で、市民がやりたいことに挑戦できるまちを創ることを継続していくことの難しさに気づかされ、中央市においても参考になる事例でありました。

2日目 令和6年11月15日(金)

場 所…福井県 鯖江市

内 容…「鯖江市役所 JK 課プロジェクト」について

2 日目は、福井県鯖江市役所を訪問しました。

今までまちづくりへの参加が少なかった女子高生を対象にしたチームを結成し、若者や女性が進んで行政参加を図る新たなモデル都市を目指し、平成26年にスタートした「鯖江市役所 JK 課プロジェクト」について視察しました。



大人の既成概念ではなく、会議とは違う「一緒にしゃべって一緒に悩んで一緒に喜ぶ」ことをモットーに“ゆるい雰囲気のおしゃべり”の中から新たな施策を展開していくことが、多世代へ波及していき、現在11年目を迎え、全国的にも大変注目されています。

中央市議会が訪問した際も、広島県福山市議会と埼玉県八潮市議会との合同行政視察研修となりました。

「若者が動けば大人が変わる。大人が動けば地域が動く」

鯖江市では近年、Uターン者・まちづくり事業参画者の増加が感じられ、『女子高生が集まらなくなるときは自分たちが楽しさを見いだせなくなったとき』であると説明されました。



中央市においても若者の市政、政治（まちづくり）への関心は低いと考えられます。若者の自由な発想により、楽しく素晴らしいまちづくり・ひとづくりが継続されていると感じました。

市民が自分の住む地域に関心を持ってもらうことを議会としても考えていかなければならないと、とても意味深い研修となりました。この2日間の研修で、それぞれが得た知見をしっかりと今後の議員活動に生かしていきます。

2025.2月
VOL.76

上三條
わたなべ ゆき え
渡辺 幸江 さん

この地での、今

上三條で新たに生活をスタートしてから早いもので、50年の月日経ちました。立ち止まって想い起してみると感慨深いものを憶えます。上三條地区は人情味に溢れ移住者を温かく迎え入れてくださる場所でした。娘二人も嫁ぎ5人の孫にも恵まれ、この地で夫婦共々平穩に年齢を重ねることが出来、改めて地域のありがたみを感じています。

コロナ禍の影響も落ち着き介護施設でのボランティア活動も再開し、体の続く限りは頑張ろうと励んでいます。上三條いきいきサロン、百才体操には都合のつく限り、みなさんとの交流を深めたくご近所さんと誘い合って参加しています。百才体操の始まる前のひとときは井戸端会議で、たわいもない会話が弾み笑いの輪が広がっています。それは、それは、楽しいひとときです。

「日々是好日」この5文字を胸に毎日を健康に過ごしていきたいと考えています。



若宮
あさ の り ひ と
浅野 梨仁 さん

目標としていること

中学校生活も残り2か月となりました。節目となる今年は、幼少期から続けてきた水泳で全国中学校水泳競技大会に出場し、1500m自由形で5位入賞を果たすことが出来ました。また、400m自由形では国民スポーツ大会に出場し、来年度に繋がる泳ぎをすることが出来ました。

高校での僕の目標は国際大会の派遣標準記録を突破することと、インターハイの表彰台に立つことです。努力があれば夢は叶えるものだと思っています。毎日の練習の積み重ねを大切に着実に歩んでいきたいと思います。

中央市出身の平野美宇さんは今や世界で活躍する素晴らしい卓球選手です。ここまで活躍する背景には並大抵ではない努力があったと思います。僕も平野さんのように名を残せる選手となり、自分に続けたいと思ってもらえるような泳ぎや記録を残していきたいです。

編集後記

去年は総理大臣の交代が起こり、その後には総選挙が行われました。海外でもアメリカ大統領選挙をはじめ、各国で選挙が行われました。選挙イヤーとなった年でしたが、その影響が直接・間接的に市民生活にも出てくると思われます。具体的な内容はまだ分からない部分も多いですが、少しでも市民生活が良くなるような影響であることを願っています。議員としてもアンテナを高くして対応していきたいところです。

また、12月議会の前後はかなり寒くなり、風邪やコ

ロナ、インフルエンザなどが流行りました。これから、まだまだ寒い日が続くと思います。読者の皆様もどうぞ体調には気を付けてお過ごしください。

議会広報編集委員会

委員長	木下 友貴
副委員長	内藤 巧
委員	有泉 誠 中沢 美恵
	江間 政雄 田中 輝美

議会だよりへのご意見・ご感想をお待ちしております。
議会事務局 電話 055-274-8516
✉ gikai@city.chuo.yamanashi.jp

〒409-3892

山梨県中央市白井阿原301-1 ☎055-274-8516

